



リツ・(リュウ)  
たつ・たてる



大だいと一いちとを組くみ合あわせた形かたち。大だいは手て足あしを広ひろげて立たつ人ひとを

正しょう面めんから見みた形かたち。一いちはその立たつ所ところの位い置ちを示しめす。立りつは一いっ

定ていの位い置ちに立たつ人ひとの形かたちで「たつ」の意い味みとななる。その立た

つ場ば所しょを位い（くくららい）といいい、立りつを「くくららいにつつく、の

ぞむ」の意い味みにも使つかう。